



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (非連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社 フライトソリューションズ
コード番号 3753 URL <https://www.flight.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
半期報告書提出予定日 2025年11月14日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 片山 圭一郎

(氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,266	△9.7	△193	—	△205	—	△206	—
2025年3月期中間期	1,402	—	△235	—	△253	—	△254	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△17.55	—
2025年3月期中間期	△26.66	—

注) 2025年3月期中間期より非連結での開示としているため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,448	366	25.0
2025年3月期	1,509	503	33.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 361百万円 2025年3月期 503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期 (予想)			—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,230	38.1	100	—	80	—	70	—	5.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	12,096,500 株	2025年3月期	11,756,500 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,025 株	2025年3月期	1,004 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	11,785,299 株	2025年3月期中間期	9,560,496 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 営業損失の計上について	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により国内景気は緩やかな回復傾向が継続する中で、米国の通商政策の影響により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、事業会社向けのシステム開発・保守、並びに電子決済ソリューション「Incredist」シリーズやAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの開発・販売等に注力いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,266百万円（前年同期比9.7%減）、営業損失193百万円（前年同期は営業損失235百万円）、経常損失205百万円（前年同期は経常損失253百万円）、中間純損失206百万円（前年同期は中間純損失254百万円）となりました。

（単位：百万円）

		当中間 会計期間	前中間 会計期間	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	SIソリューション事業	477	682	△205	△30.1%
	決済ソリューション事業	750	662	87	13.2%
	ECソリューション事業	39	57	△17	△30.3%
		1,266	1,401	△135	△9.7%
営業損益	SIソリューション事業	19	99	△79	△80.0%
	決済ソリューション事業	△35	△155	119	—
	ECソリューション事業	△15	△15	0	—
	調整額	△162	△164	2	—
営業損失		△193	△235	42	—
経常損失		△205	△253	48	—
中間純損失		△206	△254	48	—

セグメントの業績は次のとおりであります。

① SIソリューション事業

SIソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発・保守等を行いました。

当中間会計期間は、前中間会計期間に売上計上した大型システム開発の反動等により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は477百万円（前年同期比30.1%減）、営業利益は19百万円（前年同期比80.0%減）となりました。

② 決済ソリューション事業

決済ソリューション事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ、及びマイナンバーカードを用いた本人確認（公的個人認証）ソリューション「myVerifist」の開発・販売、並びにフライト決済センターの開発に注力いたしました。

当中間会計期間は、上記ソリューションの開発・提案活動に注力したことにより、営業損失となっておりますが、既存顧客向け決済端末売上の増加等により、前年同期比で営業損失は改善しております。

引き合い状況は堅調であり、売上及び営業利益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は750百万円（前年同期比13.2%増）、営業損失は35百万円（前年同期は営業損失155百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B II」の販売に注力いたしました。

当中間会計期間は、「EC-Rider B2B II」の提案活動に注力したことにより営業損失となりました。

以上の結果、売上高は39百万円（前年同期比30.3%減）、営業損失は15百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ61百万円減少し、1,448百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少（323百万円減）、売掛金及び契約資産の増加（69百万円増）、棚卸資産の増加（149百万円増）であります。

負債は、前事業年度末と比べ75百万円増加し、1,081百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加（73百万円増）、契約負債の増加（109百万円増）、社債（一年内償還予定を含む）の減少（84百万円減）であります。

純資産は、前事業年度末と比べ137百万円減少し、366百万円となりました。主な増減要因は、資本金及び資本剰余金の増加（64百万円増）、中間純損失の発生（206百万円）であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月20日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

(4) 営業損失の計上について

前事業年度は、決済ソリューション事業において、新製品であるAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ及び多機能モバイル決済端末「Incredist Premium III」の開発費用が発生したこと、並びに前事業年度に売上を計画していた「Incredist Premium III」の大口案件が当事業年度の納品予定になったこと等により、前々事業年度以上に営業損失が拡大することになりました。なお、前事業年度の営業損失298百万円の主な原因は新製品開発に係るソフトウェア等の減価償却費196百万円の計上によるもので、営業キャッシュ・フローのマイナスは75百万円となっております。

当中間会計期間は、当初の予定通り、決済ソリューション事業において、各ソリューションの開発・提案活動に注力したため営業損失193百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっておりますが、2025年9月に発行した第10回新株予約権の行使等による資金調達が見込まれることから、現時点では資金繰り上の懸念はないと考えております。

なお、当事業年度においては、「Incredist Premium III」の大口案件（今後受注予定の案件を含む）が売上計上される予定であり、営業損失は解消される見通しであります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,606	130,168
売掛金及び契約資産	287,879	357,645
棚卸資産	119,792	269,405
その他	51,579	55,173
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	911,857	811,392
固定資産		
有形固定資産	72,029	56,160
無形固定資産		
ソフトウェア	310,921	353,778
その他	126,035	138,813
無形固定資産合計	436,956	492,591
投資その他の資産	88,929	87,903
固定資産合計	597,915	636,655
資産合計	1,509,773	1,448,048
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,050	112,842
短期借入金	150,000	223,000
1年内返済予定の長期借入金	78,700	61,900
1年内償還予定の社債	118,000	68,000
契約負債	6,915	116,060
その他	140,830	196,555
流動負債合計	641,496	778,359
固定負債		
長期借入金	192,592	165,442
社債	126,000	92,000
資産除去債務	21,077	21,077
関係会社事業損失引当金	24,700	24,700
固定負債合計	364,369	303,219
負債合計	1,005,866	1,081,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,433,784	1,466,196
資本剰余金	1,424,459	1,456,871
利益剰余金	△2,352,884	△2,559,667
自己株式	△1,452	△1,457
株主資本合計	503,906	361,943
新株予約権	-	4,525
純資産合計	503,906	366,469
負債純資産合計	1,509,773	1,448,048

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,402,742	1,266,959
売上原価	1,264,463	1,120,178
売上総利益	138,278	146,781
販売費及び一般管理費	374,041	340,448
営業損失(△)	△235,762	△193,667
営業外収益		
受取利息	31	299
為替差益	-	490
その他	38	46
営業外収益合計	69	835
営業外費用		
支払利息	4,597	5,544
為替差損	11,699	-
株式交付費	-	3,785
その他	1,264	3,026
営業外費用合計	17,561	12,356
経常損失(△)	△253,255	△205,188
税引前中間純損失(△)	△253,255	△205,188
法人税、住民税及び事業税	1,592	1,594
法人税等合計	1,592	1,594
中間純損失(△)	△254,847	△206,782

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△253,255	△205,188
減価償却費	84,070	103,695
支払利息	4,597	5,544
売上債権の増減額(△は増加)	△142,852	△69,765
棚卸資産の増減額(△は増加)	△87,738	△149,612
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,171	△34,207
契約負債の増減額(△は減少)	86,788	109,145
前渡金の増減額(△は増加)	△53,510	△34,918
その他	△65,755	102,109
小計	△467,827	△173,196
利息及び配当金の受取額	31	299
利息の支払額	△6,477	△7,424
法人税等の支払額	△2,792	△411
営業活動によるキャッシュ・フロー	△477,065	△180,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,706	△18,531
無形固定資産の取得による支出	△84,258	△128,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,964	△147,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	73,000
長期借入金の返済による支出	△47,556	△43,950
社債の償還による支出	△74,000	△84,000
株式の発行による収入	49,690	54,373
新株予約権の発行による収入	3,220	5,120
その他	-	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	131,354	4,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,184	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△454,859	△323,437
現金及び現金同等物の期首残高	546,780	453,606
現金及び現金同等物の中間期末残高	91,920	130,168

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	153,123	375,204	16,454	544,782	-	544,782
一定期間にわたり移転される財	529,850	287,343	40,765	857,959	-	857,959
顧客との契約から生じる収益	682,974	662,548	57,219	1,402,742	-	1,402,742
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	682,974	662,548	57,219	1,402,742	-	1,402,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	682,974	662,548	57,219	1,402,742	-	1,402,742
セグメント利益又は損失(△)	99,382	△155,279	△15,129	△71,027	△164,735	△235,762

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当中間会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	120,952	414,840	8,349	544,143	-	544,143
一定期間にわたり移転される財	356,110	335,172	31,532	722,815	-	722,815
顧客との契約から生じる収益	477,063	750,013	39,882	1,266,959	-	1,266,959
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	477,063	750,013	39,882	1,266,959	-	1,266,959
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	477,063	750,013	39,882	1,266,959	-	1,266,959
セグメント利益又は損失(△)	19,868	△35,701	△15,118	△30,951	△162,716	△193,667

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。